

年度	2026年度							
授業科目名	スポーツデータサイエンス	授業形態	演習	授業形式	対面	授業コード	3124004801	
ナンバリング	人文社会学部経営学科 トレーナー・スポーツ経営コース (D2431)							
担当教員	未定							
配当学年	3年：人文社会学部経営学科 トレーナー・スポーツ経営コース(24)					学期	後期	
単位数	2単位：人文社会学部経営学科 トレーナー・スポーツ経営コース(24)							
必修カリキュラム								
カリキュラム	人文社会学部経営学科 トレーナー・スポーツ経営コース (24)							
資格認定・一部試験免除との関連								

授業のねらい及び到達目標	スポーツのデータを正しく理解し、基本的な分析ができる力を身につけることができるようになる。また、ExcelやPythonを使い、簡単な集計、グラフづくり、試合やフィジカルデータの読み取りができるようになる。
学修内容	本授業では、スポーツの記録や測定データを使って、基本的な統計、相関の見方、グラフ作成、選手やチームの特徴のまとめ方を学ぶ。ExcelとPythonを使いながら、データの整理と分析を実践的に身につける。
授業内容のレベル、関連科目	授業内容のレベル：スポーツデータサイエンスの概要について幅広く学ぶ 関連科目：情報リテラシー演習・DS概論、コンピューター実践演習Ⅰ・Ⅱ、スポーツ科学
授業外学修（予習・復習）	事前学習：シラバスをもとに次回授業内容を確認し、不明な点などを明確にしておくこと。 事後学習：学習した内容について、参考文献や関連図書等を読み、理解を深めること。
授業外学修に必要な時間	◇人文社会学部経営学科 トレーナー・スポーツ経営コース 開講期間内において、約60時間の授業外学修が必要になる。
使用テキスト	
参考書、その他教材	
成績評価方法・基準	定期試験60%、平常点（レポート、グループワークでの貢献度）40%とし、総合的に評価する
課題や試験のフィードバック方法	小テスト、授業内試験、課題、レポート等について、授業時間またはmanaba等を用いて講評・解説を行う。

授業の形式・計画	<p>第1回：オリエンテーション／スポーツデータとは 授業の進め方、評価方法、スポーツデータとは何かを解説する。</p> <p>第2回：データの基礎を学ぶ データの種類や、平均・割合などの基本的な見方を確認する</p> <p>第3回：スポーツで使われるデータを知る 試合記録やフィジカル測定など、スポーツ現場のデータ例を紹介する。</p> <p>第4回：Excelでの基本集計① 簡単な表作成、並べ替え、平均の出し方、基本グラフの作り方を学ぶ。</p> <p>第5回：Excelでの基本集計② 散布図や相関の見方など、少し応用的な分析に挑戦する。</p> <p>第6回：Python（Google Colab）の使い方① Colabの開き方、簡単なコードの実行などを体験する。</p> <p>第7回：Pythonのデータ操作② データの読み込み、必要な部分だけを取り出すなど、基本的な操作を練習する。</p> <p>第8回：フィジカルデータの分析体験 ジャンプ、スプリント、心拍などの簡単なデータを使って特徴を見える。</p> <p>第9回：スポーツの評価ポイント（KPI）を考える 競技に合わせて、どの数字が大事かを考える練習をする。</p> <p>第10回：試合データを読み取る バレー・サッカー・バスケットなどの試合データを見ながら、簡単な分析を行う。</p> <p>第11回：機械学習の基礎（予測する仕組み） 難しい数式は使わず、予測モデルがどう動くかを理解する。</p> <p>第12回：選手をグループに分ける分析（クラスタリング） 似た選手同士をまとめる仕組みをやさしく学ぶ。</p> <p>第13回：結果をわかりやすく伝える方法 グラフや表のまとめ方、レポートの書き方を学ぶ。</p> <p>第14回：テーマ別調査 自分でテーマを選び、どんなデータをどう調べるか計画を立てる。</p> <p>第15回：まとめ</p>
実務経験のある教員による授業科目	